

# 平成 28 年度 見附市生徒指導部 活動報告

部長 齋藤 美加子

## 1 研究主題

ネットトラブル防止について

## 2 研究概要

スマートフォンやゲーム機等を使った子どもたちのネットトラブルが年々増加し、問題となっている。ネットにつながる通信機器が多様化し、教師や保護者が十分把握していない現状がある。そこで、生徒指導部員対象の講演会を開き、具体的なネットトラブルの事例をもとに、児童生徒への指導や保護者への啓発の仕方について学ぶ。

## 3 研究の実際

○講演「スマホ時代における子どもの情報機器との関わり  
～大人がそれぞれの立場でできることは～」

一般財団法人インターネット協会 大久保真紀 様

〈内容〉

- ・ ネットに関する用語「インスタ」「#ハッシュタグ」「ツイキャス」「フロリダ」など。今後も出てくる。何が出てきても自分を守れる子にしなければならない。
- ・ 子どものスマホ、ネットの利用実態。性犯罪などの被害児童が昨年度は、前年より231人増えているということなど。
- ・ 爆発的な機器普及による問題点。外から見えにくいネットいじめへの対処、長時間利用による心身への悪影響、大人のリテラシーが高くないことなど。
- ・ 大人たちはそれぞれ何をすべきか。保護者に啓発したい内容、学校は保護者へどのように働きかけるか。学校・PTA・地域などで連携が必要であるということ。

## 4 成果と課題



最初の「ネットに関する用語が分かりますか。」の問い掛けに対して、ほとんど分からないことにまず驚き、様々なネットの使い方があるということに更に驚いた。子どもたちを取り巻くネット環境は私たちが想像する以上に急速に発展しているのだ。正しく楽しく使っていれば問題はない。が、実際に様々な問題が起きているという事例を聞くことにより、具体的に起こりうる被害について理解することができた。

ネットトラブルを防ぐには、子どもへの指導だけではなく、保護者への啓発は不可欠である。そのポイントは、「持たせる責任は保護者にあること」、「ネット利用の危険性を把握すること」、「ルールとフィルタリングの必要性」、「安定した日常生活の重要性」、「子どもは親の使い方を見ていること」、「対話によって子どもの状況を把握すること」、「関心をもって子どもを見守り続けること」であるということをお聞きした。

今後の課題は、各学校で確実に保護者に伝えていく方策を探り実践すること、子どもたちに、情報社会の倫理と法を理解・遵守させていく手立てを構築していくことである。